

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	佐賀県			代表者名	松永祥和
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	政策部さが政策推進チーム	連絡先電話番号	0952-25-7541
担当者役職	主事	担当者氏名	神原光作	連絡先E-mail	
住所	840-8570 佐賀県佐賀市城内1丁目1番59号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	令和6年度県市町職員研究会“dx21”		
概要	令和6年度に実施する県内自治体職員向けのDX研究会（研修会）において、第2回目の講師として派遣をお願いしたい。全体テーマは「デジタルトランスフォーメーションを自治体から地域へ」であり、前職（静岡市役所）時代に、オープンデータを活用した地域課題解決に努められたお話を伺いたい。				
支援を求める分野	オープンデータ人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月31日	講演&フォローアップ(実地)	10時00分	16時30分	60
				活動時間（分）	330
2-2. 派遣場所	会場名	白山テラス1F		最寄駅	JR佐賀駅
	所在地	佐賀市白山2丁目3-16		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	新庄 大輔
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	元自治体職員としてのご経験をお話いただいたことで、参加した佐賀県内自治体職員も共感できたと思います。オープンデータを推進することで業務効率化につながったお話や、しずみちインフォの構築と運用のお話は、オープンデータ活用推進のきっかけになる内容でした。また、BIツールの活用など、実際にデータを見える化しそこから地域課題を発見する事例もご紹介いただいたので、庁内でのデータ活用という面でも、参加者は興味を持ってたとと思います。
アドバイザーへの要望事項	特にありません

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	15人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	15			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	佐賀県内自治体で、オープンデータを始め、各種データ利活用を推進すべきだと考えている。特に、防災面でのDX推進、データ利活用を進める必要がある。また、データ連携基盤の導入や運用を検討するにあたり、データ活用のスキルを高め、日常業務の現場でも活かせるようになっていく必要がある
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	佐賀県内自治体において、より具体的に防災DXを進めていくため、しずみちインフォの導入を企画から運用まで担当された新庄さんの発想や苦労された点等をお聞きすることで、それぞれの自治体におけるデジタル技術やデータの活用を推進するための企画、計画につなげること

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	はじめに約1時間の座学(情報提供)をしていただいた。内容は「自治体職員のデータの付き合い方」というタイトルで、オープンデータ推進や、そこからどういった価値を生み出せるのかについてお話いただいた。その後は参加者とのフリーディスカッションを行った。午後のイベントでは、別の講師による情報提供の後、GISとデータ活用についてのワークショップにも参加いただき、最後に講師をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	参加者からは、新庄さんにご紹介いただいたBIツールを始め、様々なツールを活用してデータを加工していくことの可能性を感じた、といったレスポンスをいただいた。また、しずみちインフォの事例も含め、GIS上でのデータ連携の可能性も感じていただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回新庄さんにお越しいただいた取組「dx21」は、1月に第3回目の研究会開催を予定している。今回の研究会で学んだ内容を活かしながら、次回の研究会ではさらにデータ活用についてのスキルを磨いていきたい	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 dx21第2回研究会全体の参加者アンケートを実施しているため、この集計結果を添付(PDF)します	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	佐賀県内自治体において、更にデータ活用による業務効率化や、行政サービスの高度化を目指したい	

具体的にご記入下さい。
支援を受けた事業が成果につ
因(自治体側に内在していた成

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

